

## 「自ら学ぶ力」「課題発見力」「思考力」を身につける努力を！

受験を考えるようになると、予備校に通う人が増えてきます。しかし、安易に予備校に頼っても、効果があがらないことがよくあります。どうしてか？今回は、その問題を考えます。

予備校に通う人はどんな理由で通うのでしょうか。「予備校へ通えば何とかしてくれそう」とか「学校の勉強だけでは大学入試に受かりそうもないから」という理由が多そうです。

しかし、「自ら学ぶ」姿勢がない人が予備校に行っても「何とかかなりま」せん。そもそも「学校の勉強」を着実にこなしていますか？勉強の真髄は「自ら学ぶ」姿勢にあります。毎回の授業の予習復習にしっかり取り組み、授業に集中することで、よく理解できている分野、苦手な分野、問題演習を繰り返せば定着しそうな部分、基礎からやり直すべき部分、応用力を伸ばしていけそうな部分などが自分で把握できます。学習計画も各科目ごとに学習の進み具合や基礎の定着度合によって、自分のペースで立てられます。予備校に通って成功している先輩ももちろんいます。彼らに共通しているのは学校の授業にきちんと取り組み成績もよかったということです。自分の課題も自分でわかっているので、予備校では、必要な講座のみを受講し、基本的には、自習室を利用していたというパターンです。じっくりと思考力を要する問題に取り組む余裕も生まれます。

学校の授業に集中せず、当然予習復習もしていないので何から手をつけてよいかわからず、とりあえず予備校に通えば何とかなるだろうなどと安易に考えた人は失敗しています。学校の授業や定期テストや模試で何度も何度も出てきているのに一切聞いておらず、復習せず、予備校で同じ事項を新たにやり直すことは、お金と時間の浪費です。受験生にそんなムダな時間は残されてはいないのです。

たった今、この時から、高校1・2年の総復習を始めてください。模試の復習も大事です。模試の問題が散逸している人はまず、ファイリングするなりしてまとめておきましょう。他力本願ではなく努力をしたうえで、予備校や塾の活用を考えましょう。

## 本質的な理解をしながら、自分の頭で考えながら勉強しよう！

英語や古文の単語や文法など各科目とも分野によっては、ひたすら暗記したり覚えるしかないものがあります。基礎をなす部分であることが多いので、できる限り早めに取りかかりインプットを終わらせましょう。

しかし、数学や理科であれば公式の丸暗記や解法のパターンを覚えるだけではだめですよね。仕組みを理解する必要があります。日本史や世界史であれば歴史の流れに沿って因果関係や地理的な背景を考えなければなりません。英文や現代文などは多くの文を読んだり、新聞などからの知識がより深い理解につながります。

どうか、勉強時間を増やすだけでなく質の向上にも取り組んでください。

(ただし、そもそも勉強していない人はまず、質より量です。)

# 模試の合格可能性とは何か

模試を受けると、希望大学の合格可能性が出てきます。これはどのようにして出すのでしょうか。

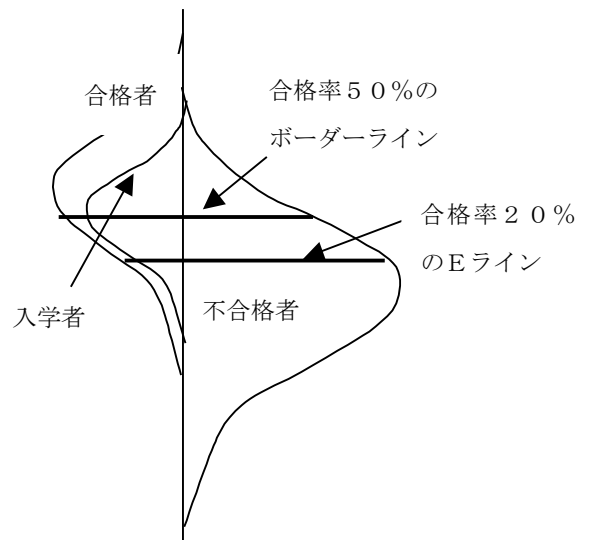
前年の同じ模試を受けた生徒たちのうちで、同じ大学を受験した人たちを追跡調査します。右の図は、追跡調査の一般的なパターンです。偏差値ごとに、合格者と不合格者を調べます。すると、ある偏差値での、合格可能性が出ます。これがみなさんの判定になります。

図を見ると、偏差値が高いほど、当然のことながら合格率が高くなっています。しかし、偏差値の低い人もかなり合格しています。大学入試は倍率が高いので、合格率50%のボーダーライン以下でも多くの合格者が出ます。

模試から本番までに学力が伸びれば、当然合格しやすくなるわけです。ですから今、合格率25%くらいでD判定でも悲観する必要はありません。正しい勉強方法で努力すればいいのです。全国の受験生の多くもやっと受験勉強を始めた人も多いのです。

現段階では模試判定が悪くても、地道に着実に学力を身につけ、高い志を持って第1志望を貫きましょう。「受験なくして合格なし」です。

逆に、合格率80%以上でA判定だとすると、志望が低すぎる可能性があります。図を見ればわかるように、偏差値の高い人は合格しても入学しない人が多くなっています。この人たちの第一希望はもっと難関校だったのです。入学者のかなりの人は、ボーダーライン以下であるというのが模試の判定の一般的な見方です。



## 春休み中の進路閲覧室の利用について

○利用できる日時：原則として、土日以外の8時30分～16時50分

※但し、会議等がある場合には、利用できません。

○貸し出しできる書籍の貸出期間：3日間

※貸し出し簿に借りた日・返却予定日を記入し、返却時も返却日を記入してください。

○コピー機の使用

コピー紙がなくなった時などは、進路指導室にいる先生に声をかけてください。

○鍵のかかっている書棚を利用したい時も、進路指導室にいる先生に声をかけてください。

○何かわからないことがあったら、気軽に進路指導室にいる先生に声をかけてください。

⇒ 裏面に「2022年度入試国公立大変更点一覧(2021/2/15現在)」